

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	フロア玄関がオートロックとなっており、利用者様が自分で鍵を開けることができない。外出時には職員が付き添っている。	利用者様の安全対策を十分に配慮し、できる限り自由に外出ができるような支援を考える。	・玄関にセンサーマット、赤外線センサーなど鍵の代わりになるものを検討。様々な製品をお借りし、モニタリングを実施する。 ・施設管理会社と相談し、入りロドアの鍵の変更を検討。カタログ、見積書を依頼する。	3ヶ月
2	35	備蓄について、現在は隣接している特養へ保管しているが、単独でホーム内に保管をしていない。	人数分×2日分の水、食料等の保管場所を設け手配し備蓄する。	管理栄養士等と相談し、備蓄用食料はどういったものが適しているかを検討。職員間でも話し合い決定し手配する。	0.5ヶ月以内
3		事業所と地域及び近隣の他グループホームとの交流があまりできていない。	・「ホーム見学会」の実施。 ・近隣のグループホームとの交流並びに地域活動定例会等への参加。 ・認知症サポーター養成講座の受講及び促進。	・本年度秋頃に「ホーム見学会」を実施予定。 ・7/21高槻市の「高齢者保健、福祉、医療関係者交流会」に管理者が参加。 ・8/7「認知症を理解し、地域で支える会」事例検討会へ参加予定。	6ヶ月
4		事前申込みされ入居を希望されている利用者様と家族様へのアプローチが出来ていない。	・定期的に連絡をとり、現況を把握することに努め入居時には多くの希望や要望が多く実現できるように配慮する。	・現在事前申込みをされている利用者様、家族様すべてに連絡をとり、情報交換などや聞き取り調査を実施、定期的な連絡により関係を築いていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。